

** 2023年11月改訂（第5版）
* 2023年10月改訂（第4版）

1.5

日本標準商品分類番号

- い、以降、本剤を再投与しないこと
- 1.6 脳血管発作、一過性脳虚血発作、脳出血、脳梗塞等の動脈血栓塞栓症が報告されている。観察を十分に行う。観察を十分に行う場合は、本剤の投与を中止し、適切な処置を行う。血栓塞栓症があらわれた患者には、本剤を再投与しないこと。[9.1.5、11.1.6 参照]
- 1.7 高血圧性脳症又は高血圧性クッシング病の例が報告されている。これらの患者には、以降、本剤を再投与しないこと。投与中は血圧を定期的に測定すること。
-

に至る例が報告されている。動脈血栓塞栓症があらわれた患者で

BO17704試験の有効性に関する成績

投与群	無増悪生存期間		生存期間	
	中央値 (月)	ハザード比	中央値 (月)	ハザード比
GC療法 + プラセボ群 (n = 347)	6.1	0.82	13.1	1.03
GC療法 + アバスチン 15mg/kg群 (n = 351)	6.5	P = 0.0301	13.4	P = 0.7613
GC療法 + アバスチン				

